

(Lonely Night Gathering)

さみしい夜の句会報 第80号 (2022. 8. 28-2022. 9. 4)

- ◆ 参加者あ、しまねこくん、太代祐一、空瓶、ゆりのはな、さー、
宮坂愛哲、蔭一郎、白水ま衣、susy、Ira、鷺沼くぬぎ、夜間戦闘
(れん)、電軍侍、星野響、西脇祥貴、ぽっぽ、生・存、おかもとか
も、na.jin、式定住佳、高木タツオ、雲上晴也、向坂藩、天やん、馬
勝、まつりべさん、西沢葉火、上休庵、玖、岡村知昭、小沢史、池
田吉輝、涼蘭、Tomo、海馬、美郷、桔梗菫、春宮飯店、なゆた、日下
踏子、石川聡、Ryusen、日月星香、石原とつき、
Millieent、AlmondKikarte、東川Saki、Tomoko、風池陽一、月硝子、
木野清瀬、達昆虫、菊池洋勝、Mei、さぶさち、みや水也、岩瀬百
Fun、crazy、lover、和泉明月子、木之下恵美、HAMBIKI、MIVA、む
くみんママ、あお、Hina、たぶん、コネコノビッチ、水の眠り、抹茶
金魚、鴨川ねぎ、さこ(砂狐)、棚場田敦也、ちゅんすけ、睦月ヨシ、
たろりずむ、かなず(梨山題)、om、高梅仁、Katsuhiz、森内詩紋、
月波与生(八一名)

◆ 7・7詩、5・7・5詩

野葡萄乃1つは白にする規則 しまねこくん
僕をおかずにして下さい秋涼し あ
脅迫の材料としてのティンパニ 太代祐一
早起きをやり直してから鬚を結う おかもとかも
寝返りの度に鳴り出す古時計 睦月ヨシ
串団子の串は感情的である 白水ま衣
流れ星神話に倣う避妊法 馬勝
女子だけのドッチボールは芋嵐 さー
光らずに世辞を言うのは難しい 白水ま衣
へネシーに漬けたZoomの下半身 海馬

土俵からなにを言っても出ない母 蔭一郎

コンテナに色なき風を積んだ船 蔭一郎

感想はブルーベリーのぶるーです MIYA

恐竜に追いかけられる不惑過ぎ 岩瀬百

そういうことは分母に言ってくれないか 白水ま衣

学校は雨冠がふさわしく Ryu_sen

蒸し焼きの鼻へごめんなさいのキス 岡村知昭

素描すら知らない国のこいのぼり 西脇祥貴

保護猫はみな野葡萄の眼をしたり 木野清瀬

最後まで眠たいままで逝くわたし 蔭一郎

お世辞抜きでとても竹輪ですね 白水ま衣

秋夕焼け逆走車には老夫婦 Tomo

加山雄三に戻って笛を吹く 岡村知昭

深夜二時まだ見たくないメールあり 空瓶

終電の窓が日めくりカレンダー まつりぺきん

入れ歯だと知ってるくせに落花生 馬勝

忍ばせた胸ポケットのバカヤロー 鷺沼くぬぎ

銀紙の対角線はミトン MIYA

虫の音に紛れて息を止めるふり さし

時計から時間抜きとる難工事 涼閑

ケーキ屋じゃシモーヌ・シニョレ資本主義 西沢葉火

父母の背が二点透視で遠ざかる 鴨川ねぎ

秋の暮隣家の柿を二個盗む ゆりのはなこ

秋涼しスーパーマンは爪を切る 宮坂変哲

水色のリボンとなり秋涼し syusyu

中指の突き指疼く休暇明 鷺沼くぬぎ

こっちだと有刺鉄線平気でつかみ 夜間戦闘(れん)

殿さまの 家に生まれず 秋刀魚食ふ 電車侍

哭声を曳いて流星宙深く 星野響

野葡萄を踏む男子学生の解放 生・存

帰り道忘れた人の夜に遭う 三三三

懐かしき感覚だけがよみがえる 弋定住佳
雨降りに花咲く水母の養殖池 高木タツオ
爽籟に鳥追いカイトみぎひだり 雲上晴也
秋日影通夜待つ父のスポットライト 向坂濤

線香も蟬の声も絶ゆ八月尽 天やん
うんざりだ…蘊蓄やたらと語るやつ。 休庵
フイクションとノンフイクションの扇置く 玖

野葡萄や制服苦手だった頃 小沢史
一陣のすずかぜ流る庫裡の裏 流天

三日月にも半月にもなれず居る 黎明
月見草スカイツリーもよくにであう 石川聡
呑みすぎて紅く色付く酔芙蓉 日月星香

ひさしぶりのふりをしてみる貴方に 東ころ
娘の背中与三〇年前の私の背中押す新学期 Tomoko
缶よりも瓶の語たらひビールかな 風池陽一
講閉じる頃野葡萄の念珠褪せ 月硝子
考える人いなくなる休暇明け 達毘古
前半の飲水タイム法師蟬 菊池洋勝
刑場へ引かれる男石叩き 岩瀬百

wait for no one. 遊ぶすぎた子供みた… fuu
若き日のあなたはそりやあ綺麗でしたよ crazy Lover
今さらと写真の妻の笑い顔 和泉明月子
終る葉月を惜しんで行水 日下昊

カーネギー あなたを読んで 忘れるわ HAKUBIKI
八月尽がらくたばかり握りしめ Tomo

夜の秋 シーツに溶けし熱ぬくもる Hina
秋のひる置かれた場所で死になさい たぶん
猫はだめだと言う母の口紅 コネコノビッチ
思い切りエゴイストな天気 水の眠り
退屈に慣れて木槿を筆り飽き 抹茶金魚

想い出に指を浸せば滲む街　ちゅんすけ
椎間板ヘルニアという架空の国　たろりずむ
ハルさんがマスクしていて休日　かなず
九月尽そして燃え尽き症候群　月波与生

◆ 7・7、5・7・5以外の短詩

ロンドン橋の薬草「ねえ、抱っこしてよ」明日は何日？　石
原とつき

ほの白き壁際に立ち三毛猫は決して動かず夕焼けとなる
ぼっぼ

夜明け前。皆寝静まる集落に、鈴虫たちの唄声が澄む。ba
友ふたり帰ったあとの台所　口笛吹いて水仕事する　美郷
ついてないしんどい時はお早めに明日の私へバトンタッチ
春宵飯店

浴槽の　中でまんじり　ともせず　にふやける体　更けて　蝮く
夜　なゆた

一八歳若き日買ったあの本を全て読みたい出来るならば
Millicent. Almond: Iklatte

あの人の随落はなにやら凜として努力のあともちらほら見
える　さぶさち

彼は誰の時こそゆらぐ霞漕ぐ星はいずこにあなたはいい
みや

家族コミュニティ勝手気ままにログアウトコノウラミハラサデオ
クモノカ：　あお

昼休み私の席はいつだってほかの誰かに埋められている
棚場田敦也

涙より血を流したいお別れにサデイスティックなキスをく
ださい　宮坂変哲

◆ 詩

さいごのせみがなっている
さいしょのくさひばりとともに
しつかなこえでなっている
土の下をほう
たくさんのおとうとのために（日下 踏子）

からっぽの
こころの端に
誰か住む
こなきじじいか
むげんかがみか
（木之下 恵美）

暑い夏 熱い夏
何かを燃やし
猫の生命さえ、燃やし尽くし 夏がいく
あなたは遠く 後ろ姿に
取り残された私は
夏の終わりに
ただ佇んでいる （むくみんママ）

◆ 作品評から

ひとりきりサイケデリック盆踊り 鴨川ねぎ
「サイケデリック盆踊り」といういかした踊りを踊っ
ているがひとり。この世界には自分しか知らない楽しみが
が無限に存在している。（月波与生）

銀紙の対角線はニヒン MIVA

「銀紙はいつも宇宙からのメッセージを受信している。」

いま二つの二星がそれぞれに二であることを主張している。
宇宙に反発が絶えないのは、四角い銀紙に対角線があるか
らだろう。(西沢葉火)

賢治は逆流し、しばし立ち止まる 藤井卓

「賢治」とは誰か？宮沢？宮本？逆流して立ち止まる
とは？擬人？途中の「」は何？ 無数の？を残したまま何
も語らず句は終わる。(月波与生)

ついてないしんどい時はお早めに明日の私へバトンタッチ
春宵飯店

「早くお休みになったぶん、明日早起きできて、ツキの
ある一日を長めに満喫できますよ、きつと (com)

稲刈りや『展覧会の絵』のテンポ

「『展覧会の絵』が面白い。稲刈りはミレーの絵の風景
であることに気づく。「テンポ」をよりエモーショナルな言
葉にするとゴーギャンになる。(月波与生)

月見草スカイツリーもよくにあう 石川聡

「おはようございます。お茶目な大宰が印象に残る作品
でしたね。(高梅仁)

保護猫はみな野葡萄の眼をしたり 木野清瀬

「綺麗な句ですね。始められた頃の句より視点が広がっ
てる。(kats-miz)

折鶴をほどけばころり恥骨落ち 小沢史

「映像的であるが恥骨は想像よりやや大きい。「ころり」
のイメージとしては尾骨なのだが句の表情としては恥骨が
合っている。悩ましい。(月波与生)

線香も蟬の声も絶ゆ八月尽 天やん

　　「尽」って、全てが無くなる感じがします。「八月尽」だと八月の全てが。明るさも音も匂いも。(向坂漣)

ケーキ屋じゃシモーヌ・シニョレ資本主義 西沢葉火

　　「こういうことです、こういうことなんですよ……」。

声に出して読んでみてくださいよ、一句が今日一日を巻き返してくれる。意味？　いくらでもあるでしょうよ句の中に。いくつでも抜き取りなさいよ。余裕ですよ、横綱の余裕。こうやって資本主義とおもしろおかしくやっていく余裕ですよ。(西脇祥豊)

座右には最果タヒがありて処暑 玖

　　「座右には」「ありて」のゴツゴツ感と「最果タヒ」は一見合っていないのだけど、不思議な整合性を感じる。最果タヒという固有名詞の懐の深さだろう。(月波与生)

コンテナに色なき風を積んだ船 蔭一郎

　　「見やりて吾はひとり漁釣る(森内詩紋)

夕闇のオルゴール化が止まらない 白水ま衣

　　「闇という得体の知れないものがオルゴールのリズムに単純化されていく。「わかるもの」だけが存在するふたしかな世界。(月波与生)

カルピスより濃いつきあいは嫌だな 海馬

　　「カルピスを「初恋の味」と言ったのは創業者。夏休み、友達の家で飲んだカルピスは家のよりずっと濃かった。とかカルピスの思い出は人それぞれで尽きることがない。(月波与生)

早起きをやり直してから鬘を結つ おかもとかも

く早起き、やり直し…からの鬘。いいですね。

この句を思い出しました。

〈鬘を切る時代は変わったんだから 芳賀博子〉(まつり。へきん)